

金日成・金正日主義が明らかにした 経済的自立をめざす南南協力を活性化していこう

スレイマン・バー

セネガル・チュチェ思想研究グループ責任者

わたしはまず、人類にチュチェ思想をもたらした偉大な金日成主席と金正日総書記に崇高な敬意を表します。

去る世紀の中葉、第3世界の諸国は、帝国主義の植民地支配と従属から脱して自由と独立は達成したが、植民地による立ち遅れと貧窮をそのまま譲り受けました。

自己の運命を自分の手に掌握した人民が真の生を享受するためには、経済を発展させて安定した物質生活を保障されなければなりません。

しかし、独立後、数十年が経った今日も第3世界諸国の経済生活は相応の水準に達していません。

もちろん、古くて立ち遅れた経済を発展させるための第3世界諸国人民の闘争では成果も大きかったのです。

また、今日、発展した国々の投資と支援は、われわれの生活環境を変化させています。

しかし、増える投資は莫大な債務を生み、支援は貧窮をなくす決定的なものになっていません。

貧しい債務者が債権者の機嫌を取ることは社会生活の当然の道理であり、経済的従属は政治的従属を生むということを知らない人はいないでしょう。

出路は経済的自立にあります。そのためにはわれわれが力を合わせ、協力と交流を強化しなければなりません。

第3世界の諸国には膨大な人的能力と豊富な資源、すぐれた技術と経験があります。

第3世界諸国が集团的自力更生と有無相通ずる原則で互いによい経験と技術交流を通じた経済的・技術的協力を実現していくなら、優に裕福な生活を営むことができます。

これはすでに久しい前から偉大な金日成主席が示した進路であります。

今日、自主と正義、発展と繁栄を志向するアフリカは、汎アフリカ主義にもとづいて団結と経済的統合の道を選んでいきます。

わたしはわれわれと同じ境遇にある第3世界諸国が団結して、自らの力を信じ、協力と交流を強化するのが経済的自立をめざす確固たる方途であると思います。

地球上には植民地から脱して自力で聳え立ったわれわれのモデルの国、朝鮮民主主義人民共和国があります。

朝鮮は金日成・金正日主義を具現して一心団結と自力更生によって自己発展の道を歩んできました。

そして今日も一心団結と自力更生によってより高いところへと走っています。

朝鮮はあれほど厳しい制裁と封鎖の中でも微動だにせず、自立経済にもとづいてその尊厳を輝かせながらも南南協力の道をたゆまず歩んでいます。

この機会に、一心団結と自力更生の旗を高く掲げて第3世界の先頭に立って進んでいる朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮労働党の金正恩総書記に心からなる謝意を表します。

朝鮮の現実には金日成・金正日主義が指し示す道に沿って進む時、3世界諸国が経済的自立によって発展と繁栄を成し遂げ、自主と正義を守ることができるということを見せています。

わたしは今日、3世界諸国が行動の指針であり、偉大な実践綱領である金日成・金正日主義を自国の実情に即して具現し、経済的自立を目指す団結と協力を強化していこうということと呼びかけます。

ここで最上の選択は、南南協力の活性化であると思います。